

■飯沼慾齋 医者・本草家。近年まで使用された「草木図説」を著し、日本で初めて顕微鏡を本格的に利用した。

いいぬまよくさい

蘭学階梯・1783＝ 伊勢国亀山で、家産を親戚に預けて実弟の家に寄寓していた美濃国大垣の町年寄の子に生まれる。

田沼意次失脚1786＝ 3歳：

叔父の営む商店に出入りして遊ぶうち、文字や計算を覚えてしまい、両親に学問の道を願うも許されず、

ラクスン来日・1792＝ 9歳：

松平定信引退1793＝10歳：

ワシダ 正月・1794＝11歳： ついに家出し、歩いて大垣の母の実家飯沼家の伯父を頼るも、両親のもとに返されたが、その決意に許されて、再び大垣に行き、伯父の弟の医者飯沼長顕に預けられる。

儒学・医学の勉強に専心するうち、信頼されるようになり、

伊能測量始・1800＝17歳： 京都に上って漢方を学び、

宣長没・・・1801＝18歳：

藤栗毛始・・・1802＝19歳： 大垣に戻り、医者として養父を支え、

バウハス来航・1804＝21歳： 長顕の長女と結婚して、飯沼姓となる。薬草採集旅行中に長顕宅に立寄った小野蘭山に出会って入門。

植物研究を始めるうちに、漢方に飽き足らなくなり、

浮世風呂・・・1809＝26歳： 江馬蘭齋の弟子吉川広簡からオランダ語や蘭方医を学んだ後、

・・・1810＝27歳： 江戸に出て、宇田川榛斎の塾に入門、

・・・1815＝32歳： *大垣に戻り、飯沼家を継いで、再び医業に当る。

以後、名医として慕われる。

水野忠成老中1818＝35歳：

群書類従完結1819＝36歳：

日本外史・・・1827＝44歳： 町医者として最高の荣誉となるお目見え・帯刀が許され、

シーボルト事件・1828＝45歳： 藩主戸田氏庸に初めてお目見えし、

シーボルト追放・1829＝46歳： 美濃国初の人体解剖を行うまでに至るが、

鼠小僧磔・・・1832＝49歳： *家業を養父長顕の長男に譲り、郊外に多種の草木を植えた別荘“平林荘”を建てて隠退。

以後、シーボルトら多くの学者の来訪を受け、各地の本草家と交流しながら、自らも各地へ植物採集に出かけて、その科学研究に専心、

大塩平八郎乱1837＝54歳：

阿部正弘首座1845＝62歳：

孝明天皇・・・1846＝63歳：

この間、時代の先端を行く顕微鏡を入手し、細部まで綿密に調べるなどして、

採集した植物をリンネの分類法に習って分類するとともに、正確な図をつけ、

ペリー来航・1853＝70歳：

安政大地震・1855＝72歳： *ついに、「草木図説」前編草部20巻・後編木部10巻をまとめ、

松下村塾・・・1856＝73歳： この年から版行が開始され、

桜田門外変・1860＝77歳：

生麦事件・・・1862＝79歳： 前編草部20巻の版行が完了。

禁門の変・・・1864＝81歳：

薩摩藩士密航1865＝82歳： 没した。

10年後、フランスでフランセーが「草木図説」を参考に「日本の植物」を出版するが、その前書で慾齋を高く評価し、「草木図説」が世界的名著となって行く。なお、後編木部10巻は昭和52年に出版される。

「人づくり風土記(岐阜)」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、「本朝医人伝」、「目でみる日本人物百科」、